

会 議 記 録

会議名称	令和元年度第6回社会教育委員の会議
日 時	令和2年3月18日（水）午後5時33分～午後7時09分
場 所	東棟6階 教育委員会室
出席者	委員 山口、朝枝、檜枝、赤池、天野、笹井 区側 生涯学習担当部長、生涯学習推進課長、 社会教育センター所長、生涯学習推進課長代理（管理係長）、 社会教育推進担当係長（社会教育主事）、 教育連携担当係長（社会教育センター社会教育主事）、 管理係主査、管理係主任、社会教育センター主査
配付資料	<p><配付資料></p> <ol style="list-style-type: none"> 1 資料1:令和元年度「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価（平成30年度分）」の実施結果について 2 資料2:新教育ビジョンの策定に向けた取組について 3 資料3:社会教育センター及び高円寺地域区民センター複合施設の大規模改修に伴う休館期間中の対応及び改修後の施設の管理・運営について 4 資料4:次世代型科学教育の新たな拠点等に関する今後の取組について 5 資料5:社会教育関係団体への補助金交付について 6 資料6:会議録について <p><参考資料></p> <ol style="list-style-type: none"> 1 別紙「令和元年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価（平成30年度分）報告書）」 2 すきなみ教育報No.236 3 杉並区青少年委員だより第74号 4 とうきょうの地域教育No.138
会議次第	<p>開会</p> <p>I. 報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 令和元年度「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価」の実施結果について 2 新教育ビジョンの策定に向けた取組について 3 社会教育センター及び高円寺地域区民センター複合施設の大規模改修に伴う休館期間中の対応及び改修後の施設の管理・運営について

	<p>4 次世代型科学教育の新たな拠点等に関する今後の取組について</p> <p>5 その他</p> <p>II. 協議事項</p> <p>1 社会教育関係団体への補助金交付について</p> <p>2 会議録について</p> <p>3 次年度の取組について</p> <p>III. その他</p> <p>○次回会議について</p> <p>閉会</p>
<p>(意見要旨)</p>	
<p>○社会教育推進担当係長（社会教育主事） 本日、議長が到着するまでの間、報告事項の進行を事務局でさせていただく。 （生涯学習担当部長 挨拶）</p> <p>○社会教育推進担当係長（社会教育主事） はじめに、令和元年度「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価（平成30年度分）」の実施結果報告をさせていただく。</p> <p>○庶務課長 表題が長いので「点検評価」と言う。重ねて新教育ビジョンの策定についても報告したい。「点検評価」は、毎年地教行法26条に基づくもので議会に報告している。これまで仕事や投入予算に対しての評価をしてきたが、ここ2年は考え方を整理し評価の対象を絞って取り組んでいる。それにより新教育ビジョンを作成の際のふり返りにつなげて職員の力量形成になる。今年度の点検評価の対象は、「学校と地域における生涯学習・社会教育が担う子どもの学び」に関連する複数の事業や取り組みであり、大人の生涯学習や社会教育の学びの成果がどのように子どもたちに還元されているか、多様な大人が支える子どもの学びに関する事業を中心に評価を行った。私どもが自己評価を行い、その内容に客観性を確保するため、東京大学大学院の牧野篤教授と、生涯学習分野での研究や現場での経験等を踏まえた国立教育政策研究所生涯学習政策研究部の志々田まなみ総括研究員、2名の学識経験者にご意見を頂戴した。報告書をまとめたのでご参考にしていただきたい</p> <p>○社会教育推進担当係長（社会教育主事） 次に「社会教育センター及び高円寺地域区民センター複合施設の大規模改修に伴う休館期間中の対応及び改修後の施設の管理・運営について」の報告をさせていただく。</p> <p>○生涯学習推進課長 休館期間は、令和3年4月1日から令和4年12月31日までの予定。ホール及び集会室等全てが休館となるため、利用者には他の区立施設等をご案内する。社教センターの事務室は、済美教育センター内にある中央図書館が使ったスペースへ仮移転し、改修後に使う備品類や美術品は永福図書館跡地に保管する予定。事業については、生涯にわたる学びの支援を継続するため、文団連の共催事業を含め、利用目的等に応じ他の区立施設を代替使用し、すでに社会教育センター以外の施設を使って進めている部分もあり、今後はその形を中心にしていく。大規模改修後は、併設する高円寺地域</p>	

区民センターが指定管理化すると方針が決まっているため、社教センターの維持管理や貸館業務に関する部分についても指定管理をしていく考えでいる。社教センター条例等の改正案の提出や指定管理者候補者選定を経て、令和5年1月に新装オープンする予定である。

- 議長 ここから進行をする。次の報告事項、次世代型科学教育の新たな拠点等に関する今後の取組について。
- 生涯学習推進課長 この計画を具体化するため、サウンディング型市場調査を実施し、事業者による整備運営の実現可能性を探り、地域の意見要望を伺い検討を進めてきた。これらを踏まえ、科学の新たな拠点を初めとする杉四小跡地を活用した施設等の考え方や運営改修に関する基本的事項をまとめた杉並第四小学校跡地施設の整備等に係る基本計画の策定を行った。基本計画の概要は、「暮らしに身近な科学から最先端の科学まで、多様な体験や学びを発信することで、子どもから大人まで世代を超えた区民が集い交流し、科学を通じて人と人との繋がりが育まれる拠点」を基本理念にしている。杉四小は築27年となり、劣化や損傷の状況を踏まえ適切に施設等の修繕整備をする。民間活力の導入をし、次世代型科学教育の新たな拠点及び多目的に利用できる場と考えている。サウンディング市場調査の結果、民間事業者に建物を貸し付け、集会機能と科学の拠点企業を一体運営することで、採算性の確保とサービスの相乗効果を見込めることが確認できた。区立高円寺北子供園やグラウンド、高円寺4大祭りの物品保管については整備と運営、維持管理とも区が行う。防災倉庫を配置しており、非常時は体育館も含めて、全て震災救援所として使う。事業方式は区と科学の拠点運営事業者が借地借家法に基づいた定期借家契約を締結し、貸付期間は10年間を想定し、不動産鑑定士に月額賃料価格の算定していただいている。今後の主なスケジュールだが、月額賃料を財産価格審議会にかけて承認を頂くことにしている。
- 議長 今までのことで何か質問は？
- 委員 ビオトープがあったはずだがどうなるか？
- 生涯学習推進課長 園児と児童との子小連携授業で使用しており、維持できるように残す方向で話し合っている。
- 委員 子供園の入口はどうなるか。
- 生涯学習推進課長 子供園の関係者以外は入れないように入口を設ける。あわせてグラウンドは子供園の園庭としても利用部分もあるので、仕切りをする考えでいる。
- 議長 では次に協議事項、社会教育関係団体への補助金交付について。
- 社会教育推進担当係長（社会教育主事） 社会教育法に基づき、社会教育関係団体への補助金交付にあたっては、あらかじめ社会教育委員の会議に意見を聞かなければならないという規定があるが、新型コロナウイルス感染症の拡大状況もあるため、例年より時期をずらしてタイミングを見計りたい。
- 議長 そのようなことでよろしいか。
(了承)
- 議長 その他について。
- 社会教育推進担当係長（社会教育主事） 今回をもって今年度中の会議は終了となる。コロナウイルス騒動の中での会議開催となって思うような進行には至れないかもしれないが、来年6月まで引き続きよろしくお願ひしたい。もし、ご希望やご意見などがあればうかがいたい。

- 委員 私は地元の区民センター協議会と、学校のCS委員を兼ねている。本日配布された資料のうち議長も関わっている、地域と学校の協働を推進する方策についての建議を読むと、本当に共感することが沢山書いてある。この建議の中の幾つかが、杉並区で推進されるといいと期待しているので、議長にこの話をさせていただきたい。
- 議長 学校支援地域本部は区内全学校にあり、条件整備という点では、23区の中で一番進んでいると思う。それをどういうふうに実質化していくかというところにあると思う。
- 委員 本当に実質化して、地域と協働する子供を育てる環境ができればいい。
- 委員 青少年問題協議会に委員として出席しているが、今年度は、中高生の居場所というテーマで話し合う。もう少し私たちの方から意見をうかがい皆さんの見識をいただきながら考えたい。杉並区では、教育委員会が学びの構造転換に取り組み始めていて、大人が学びに対する発想を変えることを学校教育の中で推進している。それと連関するようなことをこの場でも話し合っていければいい。
- 委員 学びというと、幼稚園や小学生以降のイメージが強いが、子どもたちは0歳からよく学んでおり、力を持っている。子どもたちから発信することが難しいので、大人の視点で子どもたちが学んでいることを忘れずに話し合いの中に入れていただけたらいい。
- 委員 学校の現場に携わり、教育ビジョン2012に乗っ取って必死にやってきた。先ほど、新しい教育ビジョンを2040年までを見据えて考えるとの庶務課長からの話があったように本当に過渡期にきたのだと思う。この会議でビジョンを考えるのであれば、一人一人聞いていくスタイルだとなかなか深まりにくく感じるので、可能であれば少人数のフリートークのような会議体の使い方をしながら進められたら、皆さんの考えが共有できるのではないのか。
- 議長 他に質問や意見などはあるか。
- 委員 先ほど補助金の話があったが、金額が数十万円の規模だというのが分かってこれでいいのかと率直に思った。
- 社会教育推進担当係長（社会教育主事） 補助金には、額というよりはいわば団体の運営を統率してしまう内実に直接関わる側面があるために意見を聞くこととなっている。団体の実際の経費の中には、補助金以外の分担金や委託費等事業に対する経費が別になっていて多岐に扱われている状況があり、補助金の規模も小さいものとなっている。
- 議長 例えばPTAなどは、補助金を受け取っている団体の一つだが、他の自治体に比べて杉並区の場合は良く活動している団体だという認識を持っている。そうしたことから補助金はできるだけ有効に活用してもらいたいし、アドバイスがあれば注意して使ってくださいという意見もしたいと思う。では、この辺でお開きにしたいので、最後に課長からご挨拶をお願いしたい。
- 生涯学習推進課長 本日欠席している委員が今年度で退職のためで、新たに中学校長会から推薦を受けて新しい委員の方が次回出席できる予定である。新型コロナウイルス感染症が拡大しつつある厳しい状況の中、本日の会議に出席をいただき感謝したい。ありがとうございました。